

2003年3月26日

報道資料

加賀テック株式会社

FLASH - ROM用 ICソケットの量販開始 加賀テックがサンテスト社と総代理店契約

総合エレクトロニクス商社の加賀電子グループの加賀テック株式会社(本社:東京都千代田区、取締役社長:川股 昇)は、メカトロニクス機器の開発・製造・販売を行なっているサンテスト株式会社(本社:東京都三鷹市、代表取締役社長:西尾美輝氏)と FLASH-ROM 用 IC ソケット「TSOP」の総販売代理店契約を締結し、量販を開始しました。

サンテスト社はこれまで、テスト用のソケットで販売実績を重ねてきましたが、このほどアミューズメント業界向けの販売に実績を持っている加賀テックを総販売代理店として、販売チャネルの拡大を図ることにいたしました。

< TSOP の概要 >

- ・ TSOP 56 Pin IC 用ソケット(タイプ1)
- ・ 大容量メモリー対応用ソケット(128M ~ 1G)
- ・ 鉛フリー実装対応
- ・ アミューズメント、パチンコ、パチスロの実装に最適。

< TSOP の特長 >

- ・ ホルダー上面に大開口部を設けており、シールを貼ったデバイスを目視で容易に確認が可能である。
- ・ ワンタッチロック方式により操作性も優れている。
- ・ 鉛フリー対応で耐熱樹脂を採用。
- ・ ICを蓋(ふた)にホールドすることで足曲がりを防止。
- ・ 実装機対応のためエンボステーピング梱包。
- ・ 半田付け端子の肉眼による確認が容易。
- ・ ソケットの挿抜が30回まで可能でリサイクルに対応。
- ・ 蓋(ふた)は2種類のタイプが提供され、48 / 56 Pin PKG の装着。
- ・ ICの抜取り治具を用意。

加賀テックは、遊技機器やアミューズメント機器向けに強みをもっており、上記の TSOP の特長から同業界向けに適しており、量販が期待できます。

パチンコやパチスロ機器は、LCD モニターの大画面化が進んでおり、これに伴い使用するメモリー容量も増大しております。また社会的ニーズの高まりからリサイクル対応が重視されて

おり、書き換え可能デバイスが主流になりつつあり、EPROM やマスク ROM に代わって FLASHROM の需要が伸びてきております。

ROM の年間需要個数は、パチンコ機器向けが約 1,300 万個、パチスロ機器向けが約 300 万個で合計約 1,600 万個とみられております。

デバイスの使用箇所は、パチンコ機器やパチスロ機器のメインボード、サウンドボード、画像ボードなどであります。

「TSOP」の生産は、韓国の OEM 工場で行われ、月産 30 万個でスタートしております。今年の夏頃には月産 100 万個に引き上げる計画であります。サンプル価格は 350 円。

主な仕様は次の通り。

定格電流: 300mA

定格電圧: 50V

絶縁抵抗: 100 以上

接触抵抗: 初期値 35mΩ 以下、50mΩ MAX

使用温度範囲: -25 ~ +85

実用耐久回数: 30回

構成パーツの材質 / 仕上げは次の通り。

絶縁物: LCP樹脂 / ブラック

端子: BeCu / Au

固定金具: PB / SUS

< サンテスト株式会社 会社概要 >

本 社 : 東京都三鷹市下連雀 3-21-11 TEL : 0422-43-2121

設立年月 : 1990年(平成2年)3月7日

資本金 : 1,500万円

事業内容 : パーインボード・ベアボードチェック治具・半導体用精密治具、設計、
製造、販売

この件に関するお問い合わせは

加賀テック株式会社

〒101-0021 東京都千代田区外神田 2 - 5 - 12

電子事業部第二営業グループ グループ長 阿波 憲二

TEL: 03(5207)5661 FAX: 03(5207)5664

Eメール: awak@kagatech.co.jp

